

公表

令和6年度 事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)

○事業所名	青葉区医師会 放課後等デイサービス なのはな		
○保護者評価実施期間	R6年11月20日		R6年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R6年11月19日		R6年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	年 月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	入浴が出来る	医療的ケアのある児童の利用が多く、入浴介助への希望が多い。 課題は、医療的ケアや入浴に時間が割かれ療育に乏しい点や環境問題がある。	既存の環境を生かし、安全に心地よく過ごしていただく居室環境を整えていきたい。 入浴介助と療育活動の時間配分の工夫と、スタッフの時間管理意識改革が必要。
2	看護師配置が多く医療的ケア児が利用可能。 介護職員による特定行為が可能。 リハビリ職(PT,OT,ST)の配置によりリハビリが受けられる。	当事業所の強みでもある看護師の配置や医療的ケアに対応出来る点は保護者からも高い評価を得た。	短時間利用の中で看護師と介護士が日々のケアと療育を担っているが、保育士や教員資格保持者の採用活動も積極的に取り組みたい。
3	訪問看護や訪問介護、相談支援の事業所が併設されている為、通所以外のサービス調整や相談等が可能。	多職種間の情報共有を有効活用し、多方面から医療的ケア児と家族をサポート、サービス調整、相談支援していく。	土曜日や年末年始(特定日のみ)の開所の検討と、月2回の実施。 長期休暇を利用した個人的プログラムに配慮した療育が行えるように検討したい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	看護師、介護士が児童指導員を担うので、療育プログラムの内容が乏しく、リハビリ器具等の設置がない。 入浴主体な為、療育活動の時間が少ない。	楽しく運動やリハビリが出来る用具の設置。専門職による個別リハビリプログラム対応。安全で安楽な入浴介助と療育活動の時間配分を工夫して支援していく。	『児童発達支援計画』を示しながら支援内容が保護者に説明され、家族に対して家族支援プログラムや家族等きょうだい児も参加出来る研修や行事等も検討していく。
2	訪問系サービス事業所を改装した施設であるため、分散した環境問題、エレベーターの無い2階への移動が必要であり、スタッフの体調など配慮が必要。	既存の居室環境を生かし安全に活動出来る工夫をしていく。年齢や体の動き、医療的ケアの内容により適切な居室を選択していく。	環境、職員体制の整備は適切かどうか検討。生活空間は清潔で心地よく過ごせる環境か。児に分かりやすい構造化されているか。障害特性に応じてバリアフリー化への配慮がされているか。検討していく。
3	外部事業所(児童館等)との交流が無い。 災害や防災対策の周知が不十分。	保育士や教員資格保持者の採用促進。地域交流の場を検討。防災対策や災害対応マニュアル等の説明を保護者に毎年行い周知を促していく。	事業所では事故防止、緊急時対応、防犯、感染症等のマニュアルが策定され、児の安全を確保する。発生を想定した訓練を実施。定期的に通信やホームページ、SNS等で活動概要や行事予定、連絡体制等保護者へ発信し情報共有。